

2023年度中堅職員ステップアップ研修(2)

図書館経営の評価実践

早稲田大学
田辺 智子
2023年9月5日

1

本日の内容

<午前：図書館経営の評価>

1. 図書館評価とは
2. 図書館評価の方法
3. 発展経緯（海外・国内）
4. 図書館評価の意義
5. 評価実施上の留意点

<午後：図書館経営の評価実践>

1. ロジックモデルとは
2. ロジックモデル作成演習①（ツリー型）
3. ロジックモデル作成演習②（フローチャート型）
4. 全体のまとめ

2

1. ロジックモデルとは

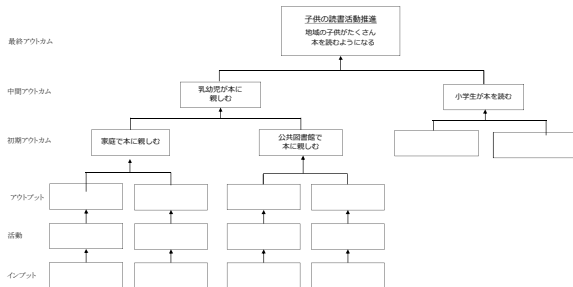
3

ロジックモデルとは

- 事業や組織が目指す変化・効果を明らかにし、そこに至る道筋を図示したフローチャート。
- 評価を実施する上で基礎となるもの。業績測定では、適切な指標を設定するために利用できる。
- 戦略計画・事業計画の作成ツールとしても使える。
- ツリー型とフローチャート型がある。

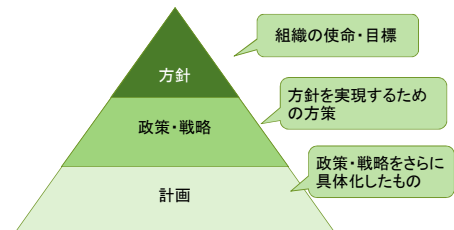
4

ツリー型ロジックモデル



5

組織の戦略体系（再掲）



6

公共図書館の基本的運営方針

(例) 町田市立図書館の「めざす姿」

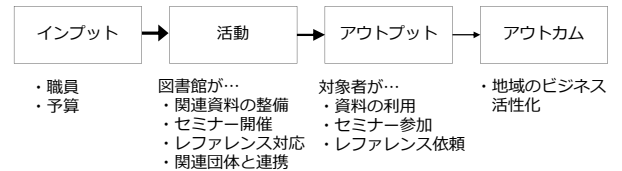
- ・あらゆる市民が利用しやすい図書館
- ・子どもの読書活動を充実させる図書館
- ・地域のコミュニティ形成を支援する図書館
- ・地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館

<https://www.library.city.machida.tokyo.jp/img/other/c3ee7a43faddddef2f8b1404f119ea62b.pdf>

7

フローチャート型ロジックモデル

<ビジネス支援サービスの例>



8

ロジックモデルの作成

- 本来は最終アウトカムから検討するのが原則。ある成果を実現するためには、どんな事業が必要かを考える。
- ただし、実際は事業・サービスが先にある場合も多い。
- 矢印は因果関係。各ボックスが論理的につながるかを検証。
- 関係者が議論しながら作るのが効果的。
- 指標を設定する際は、ロジックモデルで目指す成果を確認した上で、それに見合う指標を設定する。

9

2. ロジックモデル作成演習① (ツリー型)

10

事前課題 ワークシート①

- 最終アウトカムを実現するために、どのような事業が必要かを考えてみてください。
- 時間配分
 - ・ 30分：3グループに分かれて議論
 - ・ 10分：各グループの発表
 - ・ 15分：ディスカッション

11

3. ロジックモデル作成演習① (フローチャート型)

12

事前課題 ワークシート②

- 空欄を埋めてみてください。特に、適切な指標とその測定方法を考えてください。
- 時間配分
 - ・ 25分：3グループに分かれて議論
 - ・ 10分：各グループの発表
 - ・ 15分：ディスカッション

13

4. 全体のまとめ

14

評価とロジックモデル

- 望ましい基準では、基本的運営方針や事業計画に基づく評価を想定。⇒計画と評価は表裏一体
- 評価以外の場面でも、サービス・事業が目指す方向性とロジックを考えることは重要。

15

参考文献

- 日本財団 (n.d.). 「ロジックモデル作成ガイド」 <https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/01/g-ra_pro_soc_gui_03.pdf>

16